

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年5月31日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400032
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム たるみず太陽の家
所在地	鹿児島県垂水市浜平2189-6 (電話) 0994-32-5030
自己評価作成日	平成29年4月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年5月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型グループホームを目指すと共に、自然と触れ合いながら質の高い介護サービスを提供し、要介護状態の軽減と悪化防止に、最善を尽くしています。
家庭的な雰囲気の中で日常生活を皆で支え、楽しく過ごして頂けるよう支援しています。
すぐ目の前の畑で花や野菜を作り、育ち具合や収穫の楽しみを味わい日々の食材として料理に使用しています。
季節ごとの行事では地域の踊りでの参加や見学者も多く、盛り上げて頂いています。
看取りの実績もあり、重度化や看取りに関する勉強会や研修に参加し、知識やレベルアップを図っています。
急変時は主治医から職員や家族に対して直接説明を受けることが可能であるなど、夜間の往診・24時間医療連携が図れていることから安心して生活できる環境で支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

垂水フェリーから程近い主要道路から少し入った、のどかな風景のなかにグループホーム「たるみず太陽の家」は位置し、周りにはメロン畑やビニールハウスが点在し、野菜で季節を感じとれ、ホームのベランダ越しには菜園と海から風を感じられる処に在る
母体は多数の関連組織を持ち管理者や職員は質の向上のため、研修会や勉強会にも熱心であり当施設は垂水市の介護事業所としてもモデル的存在である
運営推進会議にも市の職員を始め、家族や外部関係者の参加も多く、率直な意見を取り入れながら運営に活かし、ホームが開催する行事も家族や地域住民の参加も多く大変喜ばれている。
理念に唱ってあるように利用者の立場に立った介護と地域との交流を深めながら利用者の自立を目指した支援を行っている
職員の殆どは有資格者であり看取りについても勉強会や外部研修を重ね経験を積み、チームで取り組む姿勢がうかがわれる
医療体制も24時間医療連携が図れ、利用者と家族の安心が得られるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼時に理念の唱和を行い、理念に沿った地域密着型サービスの実践に取り組み、地域との交流が深まっている。	地域に根ざし利用者と共に生活する姿勢が窺われる理念は玄関やリビング、畳の間などに掲げ、管理者と職員は日々の生活のなかでその都度の気づきを振り返り、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者が地域とのつながりが保てるよう、施設の行事へ地域の方への参加を呼びかけ、交流を行っている。	垂水市と連携した業務委託金の活用で、利用者が地域でつながりながら暮らせるような行事を積極的に盛り込み、地域住民や利用者、家族も毎年楽しみにし、多くの参加者で賑わっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	事業所は、認知症の人の理解や支援の方法を、地域の方々に解りやすく伝え、介護保険についても説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではホームでの取組状況、サービス内容報告、職員状況を行い、そこでの意見や提案をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は市の職員をはじめ多くの参加者があり家族も快く出席している。垂水市の高齢化対策もありホームは地域交流のモデル的存在であり、出された意見も具体的に活かし、地域と利用者の支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所の担当者との連絡を密にとり報告や相談等、市役所に出向き事あるごとに助言を頂いている。事業所の行事にも参加していただき協力関係を築いている。	市町村の開催する研修会には積極的に出席することで協力がもらえるようになり、分からない事やトラブルも先に相談する姿勢である。事業所の行事にも参加してもらえる機会も多くなり、連携が図れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置し、2ヶ月に一回確認している。研修会への参加、勉強会を行い職員全員が身体拘束の具体的な行為を正しく理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	二ヶ月に一回開催する身体拘束委員会で職員は具体的な行為の勉強会を行い、外部研修後は内部に報告するなど正しく理解するように努めている。転倒の疑いのある利用者には家族と話し合い、帰宅願望の利用者は声掛けと見守りで、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の勉強会を行い、身体的・精神的虐待の防止に努めている。排泄介助、入浴介助時などに見過ごしが無いように確認を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現時点での活用はないが、資料を基に勉強会を行い、権利擁護、成年後見人の制度を学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明書や契約書をもとに十分な説明を行い、不安や疑問点を伺い理解、納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中や家族の面会時に、管理者や職員に意見が言いやすい関係性作りを行い、年2回の家族会ではアンケートを実施し運営に反映している。	家族や利用者の思いや意見が言いやすい雰囲気づくりに努め、年2回の家族会でのアンケートで率直な意見をもらい、前向きに検討している。些細なことでも対応できるように連絡ノートなども検討中である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者、管理者は日頃から職員の意見や提案を聞き運営に反映している。職員の気付きや意見や提案は申し送りの中で話し合い共有している。	ミーティングのなかで職員の気づきや提案を話し合い、個人面談でも聞き取り、運営に反映させている。問題行動のある利用者の座席変更や、職員間のコミュニケーションを図るため食事時間の調整など職員の意見が活かされている	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者会議やミーティングで職員の努力や実績等把握している。各自が向上心を持って働ける様、給与水準、就業、環境の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は管理者、職員一人ひとりのレベルに応じた外部、内部研修を受ける機会を確保している。看護師からの職場での実地研修もその都度行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市の研修会や地域包括ケア体制整備検討会に積極的に参加している。勉強会を行い支援・サービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前事前面談で不安や思い要望を把握し安心して生活出来るよう環境や信頼関係信頼関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始段階での不安要望など解消に向けて話し合いを重ね信頼関係が築けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用開始する段階で、本人や家族の状況を確認し、ニーズに合ったサービスの提供が出来るよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は本人を介護しているという一方的な考えではなく、共に生活をしている共同者として関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で利用者の様子を伝えている。病院受診や面会など家族の役割を設け、共に本人を支えていくことを心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お花見やお祭り等に出掛け、知人・馴染みの人との交流が持てるように支援している。	介護度が高くなり当初より馴染みの場所に出向く機会は少なくなったが、ホームの行事の花見や紫陽花をめでたり地域行事のお祭りに出かけることでこれまでの人や場所との関係継続を支援している。美容室や墓参りは家族と出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	状況に合わせて、座席の配置を工夫して、会話が楽しめ利用者同士の関係が保てるよう、努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、状況を聞かせて頂き、相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者、家族からの要望や意向を伺うようにしている。本人本位のケアプラン作りに努めている。	一人ひとりの思いや意向に職員は関心をはらい把握に努め、意思疎通の困難な利用者は家族や関係者からの情報と表情で汲み取っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等これまでの経過を伺い、サービスに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの出来ることを、よく観察し、心身の状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人が、より良く暮らせるように、本人・家族や関係者と担当者会議を行い、現状に応じた介護計画を作成している。	利用者が地域でその人らしく暮らし続けることができるように、家族や必要な関係者の支援が盛り込まれ、現状に即した介護計画である。また独自のプラン計画実施表もあり、本人が必要とする項目は職員の意見も書き込まれた詳細な内容で本人主体の介護計画となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の気づきや工夫・ケアの実践を個人記録に記入し、申し送りやミーティング等で、情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人と家族の状況やニーズに対応できるよう取り組み、柔軟な支援やサービスが出来る様に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議や市報等で地域資源の把握に努め、楽しく暮らしながら馴染みの行事等に参加できるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診は本人及び家族の希望の、かかりつけ医に受診したり往診に来て頂いている。異常時等、家族や医療機関へ連絡し適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医と認知症や他科受診は家族にお願いし、状態一覧表を持参している。介護度の関係で往診もあり職員は個人票と申し送りノートで情報を共有し、緊急時の協力機関との連携も取れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	関わりの中でとらえた・情報や気づきを、看護職員や訪問看護師に報告、相談を行い利用者一人ひとりが適切な看護・受診が受けられるよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	日頃から医療関係者と情報交換、相談を行っている。入院時は面会等を行い利用者の状況把握に努め安心して治療が出来るよう支援している。また医療関係者、家族と連携をとり早期に退院が出来るように支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化、看取りについて説明し利用者、家族の意向確認を行っている。重度化、終末期に伴い必要時その都度利用者、家族や関係者と話し合い方針を共有し支援している	今年に入り2名の看取りを行っている。入居時に重度化や終末期について十分な説明と話し合いのなか方針を決め、看取りの勉強会に他県まで職員は行っている。看護師の職員も多く管理者と共にチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	地域の消防署の協力を得て急変時の応急手当、救命講習の実施演習を行っている。又随時 事故発生に備えて解決策を話し合い対策を実践している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署との連携にて避難訓練の実施、津波の避難経路の確認を行い、職員全員で把握している。</p>	<p>消防署立ち会いのもと災害訓練を行い近場の工場に協力をお願いしている。近隣の住民は高齢者が多いため避難場所での見守りをお願いし、津波の避難経路も職員間で把握している。備蓄も取り出しやすい場所に保管されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心掛け、職員同士でその都度話し合いを行っている。	利用者の誇りやプライバシーを損ねないように基本的に苗字で呼び同姓の方には名前で呼んでいる。トイレ誘導もさりげない声掛けに配慮し職員は接遇の外部研修に参加し対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	二者選択の分かり易い声かけを行い、本人の思いや希望を伝えられるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースで生活できるように体調を見ながら本人の希望に合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい服装や利用者様の好みに添ったオシャレが出来る様に支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活の中で最も楽しみの一つであり、行事食・お祝い等行い食の興味や意欲へとつなげている。	毎日の食事が楽しいものであるように食事の準備の手伝いやツワ、ピーナツの殻むきなどで食への関心を誘い行事食も手作りで提供している。気候の良い日はベランダでのお茶や家族と外食を楽しむ利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態に応じた形態食を作り、利用者の栄養管理に活かしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	衛生保持に努め、本人のレベルに応じた口腔ケアを毎食後支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の排泄パターンを把握すると共に、声かけを行い一人で行けない方は、本人に合わせた排泄パターンで誘導を行う事で、自立に向けた支援を行っている。	トイレでの排泄を可能にするために一人ひとりの排泄パターンを把握し誘導を心掛けている。失敗しても周囲に気づかれない配慮でリハビリパンツから布に移行した利用者もあり、自立に向けた支援となっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの排泄パターンを確認し、水分摂取に気配りを行ない、食物繊維や乳製品、オリゴ糖等取り入れ予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の重度化も高くなりストレッチャー入浴と個々の状況に合わせて職員2人介助で行う等、利用者が安心して気持ち良く入浴出来る様にしている。	利用者の重度化に伴い職員は二人体制であり、ストレッチャーやシャワー浴を活用している。浴槽にはったお湯をたっぷり利用者に使うなど工夫がみられ、個々に応じた入浴の支援である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の生活習慣を大切に生活の中に運動や日光浴など取り入れ安眠できるよう支援し、また利用者の体調を観察し昼寝の声掛けを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の情報が把握出来る様ファイルを作成している。変更時は申し送りに記入し把握出来る様にしている。与薬の際は名前、日付の確認して服用している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーション、外出など一人ひとりの出来ることを行い気分転換を図っている。また重度化に伴い生活環境、嗜好品等工夫し喜びを持てるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	重度化が進み外出できる方も少なくなっているが、数時間テラスへ出たり、一人ひとりの状況、希望に沿って外出が楽しめるよう支援している。	日常的な外出が困難になってきているが菜の花ロード、千本銀杏の見学に出かけ、地域の郷土芸能の踊りはホームに来てくれる。地域の祭りでは家族や知人と会え、会話を楽しんだり一緒に写真を撮ったりしている。また出店の花や苗を眺める事で五感が刺激されるなど、家族や地域の人々と協力しながら外出支援を行っている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物に行くことが出来る方は職員と出かけ、好みのおやつ、果物等選んで頂けるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じて電話で会話をされたり、ご家族に面会に来て頂いたりして自由に会話を楽しまれている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井も高く広々とした共用空間で会話を楽しまれたり、季節感を取り入れ居心地の良い生活が過ごせる様に配慮している。温度や湿度など毎日チェックし、快適な空間づくりを行っている。</p>	<p>広く明るい共有空間は利用者が居心地よく過ごせるようにソファやテーブルが置かれ絵を描いたり音楽を聴きながら時を過ごしている。室内の温度・湿度の調整も毎日され、トイレ、風呂場も広く混乱を招かない配慮があり、玄関には職員の顔写真が掲示され家族に安心感を与えている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールで過ごされる時や居室で過ごされる時、気の合う仲間と会話できるよう、テーブルや椅子の配置を工夫している。利用者のペースで生活出来る様に配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>着慣れた衣類、寝具等を使用している。また家族、本人、職員が一緒になって居室の飾りや家具の配置を行っている。</p>	<p>本人が居心地よく過ごせるようにベッドの位置や家具も個別対応で配置され、転倒の危険性のある利用者の棚はダンボールで作られている。使い慣れたものがある風通しの良い居室は工夫が見られる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安心して過ごせる様、障害物を取り除き、安全な環境づくりを工夫している。職員が利用者の解ること等把握し見守り支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない